



白子中だより

令和6年9月9日

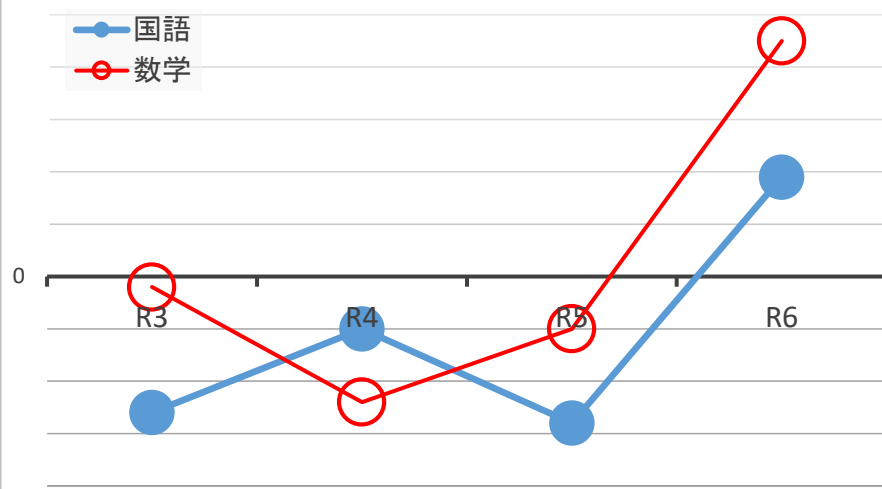
第5号

鈴鹿市立白子中学校

◆◆全国学力・学習状況調査について◆◆

【学習に関すること】

全国学力量習状況調査全国との比較



グラフは令和3年度からの国語と数学の学力調査について、全国平均との差を表したものです。「0」の目盛が全国平均値です。

今年度は、初めて国語・数学ともに、全国平均を上回る結果となりました。特に数学の伸びが著しいです。

質問項目	本校	全国	差
1、2年生のときに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか（週3回以上）	78.1	64.4	13.7
1、2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか→「主体的な学び」	84.1	80.3	3.8
授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができますか→「深い学び」	84.4	79	5.4
授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にしてお互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか→「協働的な学び」	96.2	92.3	3.9
1、2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか	55.9	64.8	-8.9
学校の授業時間以外に、普段1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）（2時間以上）	23.3	31.7	-8.4

質問紙調査の結果からは、全国平均に比べて ICT 機器を良く活用していることがわかりました。また、今国が求めている「主体的に学ぶこと」「他者と協働して学ぶこと」知識の習得にとどまらない「深い学び」につながるような質問でも、「あてはまる」「ややあてはまる」と肯定的に回答する生徒の割合が高いことがわかりました。しかし、発表の工夫、つまりアウトプットと呼ばれる部分には課題があります。考えがうまく伝わるように資料や文章を工夫する点は全国平均と比べても大幅に低い状況でした。強みは伸ばしつつ、課題を克服できるよう、授業改善に努めていきます。

また、家庭学習の時間も大変少ない状況にあります。確かな学力を身につけるためにも、ICT 端末を活用するなどして、家庭学習の習慣が定着するよう取り組んでまいりますので、ご家庭でもぜひ、励ましのお声かけをお願いします。

【生活に関すること】

質問項目	本校	全国	差
将来の夢や目標を持っていますか	72.8	66.3	6.5
携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか	78.4	72.2	6.2
困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか	79.1	67.5	11.6
普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をしますか（2時間以上）	52.9	48.9	4
普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで SNS や動画視聴などをしますか（学習する時間やゲームをする時間は除く）（2時間以上）	55.8	55.9	-0.1

全国平均と比べて肯定的な回答が多かったのは、「将来の夢や目標を持っている」という質問でした。また、「スマートフォン等の使い方について家の人との約束を守る」「困りごとや不安があるときに先生や大人に相談できる」という回答の割合も高かったです。

一方で気になるのは、ゲームを1日2時間以上している生徒が半分以上、SNS や動画の視聴を2時間以上している生徒も半分以上いるという点です。これは全国的な傾向であり、本校の生徒に限ったことではありませんし、多くの情報を得るという点では、必ずしも悪いことではないと思います。しかし、偏った情報にばかり触れていると、視野は広がりません。ぜひ積極的に自分とは異なる意見、多様な考え方に接し、自分の世界を広げてほしいと願っています。